

広報 おまね



特集 みらいはその手に みやび 雅なおひなさまに夢中

7区の林武一郎商店のひな人形は、江戸時代後期に作られたといわれる大変貴重なものです。3月25日から29日まで開催される「大江のひなまつり」では、ひなを展示するお休み処や、町内4カ所の展示会場のほかにも、各商店の自慢のおひなさまがお目見えします。ぜひご覧ください。

平成29年

3

No.673

みらいはその手に

～未来へつなく
元気活動支援事業～



発想と創意工夫で 明日のまちづくり

将来にわたって誰もが安心して暮らせる「まちづくり」を実現するためには、行政の視点からだけではなかなか見えづらく、解決することが難しい課題が多くあります。一方で、日々の生活の中、見過ごしてしまいうような何気ないことからこそ、「こういうサービスがあつたらいいのに」「こうすれば、もつと人が来てくれるのでは」といったことが見えてくるかもしれません。

町が抱えている、さまざまな課題。現在から想像される、将来の町の姿。そうした「気づき」がきっかけとなり、アイデアが生まれ、人々の共感を呼び、町の行く末を変えるような活動へとつながっていく——普段の暮らしと密接に結び付いた活動が、誰もが暮らしやすい「まちづくり」の原動力となっていくます。

このようにして生まれた町民の皆さんの自主的な活動を支援する制度として、平成23年度から昨年度まで実施された「やる気↓元気活動支援事業」があります。この制度は、皆さんのまちづくりに関するアイデアの実現を応援することを目的とし、

「未来へつなぐ元気活動支援事業」の概要

《総合戦略推進型》

対象事業	町が設定した以下のテーマに取り組む事業 ①山里交流館やまさあーべを活用した交流事業 ②婚活支援事業 ③移住交流促進事業 ④地域ぐるみの子育て応援事業 ⑤ふるさと納税の返礼品向け商品開発事業
補助率など	上 限：100万円 補助率：50万円まで：対象経費の10割 50万円超の部分：1年目9割、2年目8割、3年目7割 (若者・女性グループの場合：1年目10割、2年目9割、3年目8割)

《創意工夫型》

対象事業	申請者がテーマ（課題）を設定し、自らの創意工夫により地域課題の解決や地域おこし活動などに取り組む事業
補助率など	上 限：100万円 補助率：30万円まで：対象経費の10割 30万円超の部分：1年目8割、2年目7割、3年目6割 (若者・女性グループの場合：1年目9割、2年目8割、3年目7割)

《平成28年度支援団体一覧》 ※実績により交付決定額が変更となる場合があります。

団体名	補助区分	事業名	交付決定金額
OE REPOWER PROJECT	やる気→元気継続	OE SHAKE LAB 2016	50万3千円
大江町商工会青年部	やる気→元気継続	大江町交流ステーション前 クリスマスイルミネーション事業	45万8千円
を結び隊	総合戦略推進型	大江町婚活事業	80万9千円
おいで、おおえ	総合戦略推進型	「おいで、おおえ」ウェブサイトおよび PRイベントの実施	91万7千円
佐藤利宏商店	総合戦略推進型	フルーツアイス計画	88万3千円
Project-SHEYGER	やる気→元気継続	ご当地ヒーロー	40万円

地域活性化のための活動と、そうした活動をおこなう団体の育成を支援するものでした。

補助金の交付を受けての活動は昨年度で終了しましたが、多くの団体は平成28年度もそれぞれの活動を継続しています。その取り組みは町の魅力に新たな光を当て、町内外の多くの人が楽しめる場を生み出すものとして、現在もしっかりと根付いています。

昨年度「やる気↓元気活動支援事業」を受けて取り組みをおこなった団体のひとつが、8区の「左沢駅前・祭&行燈通りプロジェクト」です。地域に活気をもたらし、多くの人に祭りを楽しんでもらうため、区内に新たに行燈を設置し、夏まつり期間中に駅前通りを歩行者天国としてビアガーデンなどを開催。街並みを行燈の柔らかな光で照らしながら、祭りの賑わいを盛り上げました。

また、木を使ったおしゃれな町づくりを目指す「木の街おおえプロジェクト」では、松保の大杉でパワースポットキャンプを実施したほか、山里交流館「やまさあーべ」を会場に「木のある暮らし体験喫茶」を1カ月間運営。木でできたはがきを自分だけのデザインに加工できるなど、

体験を通して木の魅力に直に触れられる空間を演出し、多くの方が訪れました。

このように、多くの取り組みを支援してきた「やる気↓元気活動支援事業」を引き継ぎ、より発展させた制度が、今年度から始まった「未来へつなぐ元気活動支援事業」です。柔軟な発想と創意工夫によって生まれた企画の、実現への後押しとなる制度として、多彩な活動に生かされています。

人口増を目指して 交流と移住の促進

「未来へつなぐ元気活動支援事業」の対象となる事業は、「創意工夫型」と「総合戦略推進型」の2つに分かれています。このうち、申請者が自らテーマを設定し、地域課題の解決や地域おこしなどを目指す取り組みを支援するのが「創意工夫型」です。これは、従来の「やる気↓元気活動支援事業」において対象としてきた内容を引き継ぐものとなっています。

これに加えて、町が設定した5つのテーマに取り組む活動を支援する「総合戦略推進型」を、今年度から

地域と人の 「縁」を結びたい

結婚希望者へ出会いの場を提供し、結婚へと結びつける活動をおこなう「を結び隊」。今年度主催したイベントでは、目標を上回る数のカップルを成立させ、大きな成果を挙げました。

婚活だけではなく、町のあらゆる「縁」を結びたいことを目指して、次のステップへ踏み出そうとしています。



を結び隊

代表 鴨田 直樹 さん
(4区)

「を結び隊」代表の鴨田さんは、昨年山形市でおこなわれた合同婚活イベントの運営に携わり、そこで企画運営のノウハウを学んだといいます。

「大江町でも町外から参加者を呼び込んで、同じことができそうだという感触を得ましたね。でも実際にたくさんの出会いを実現するのは難しく、参加者同士のコミュニケーションを促すためにいろいろと考える必要がありました」

昨年8月、第1回目の婚活イベントとして大山自然公園でバーベキューを開催。そして今年2月には、中央公民館で英語限定の料理体験イベント。出会いの場の提供にとどまらず、共同作業を通じて参加者同士が打ち解けられるようコーディネートにも工夫を凝らし、それが多くのカップル誕生に結びつきました。

「私たちが最終的に目指すのは、町の人口を増やすこと、そして町の魅力をPRしてたくさんの人を呼び込むことです。来年は婚活イベントだけにこだわらず、ほかの団体との連携も視野に入れて活動を発展させたいですね」



▲昨年8月28日に大山自然公園で開催された婚活バーベキュー



◀鴨田さんがデザインを手掛けた「を結び隊」オリジナルパーカー。「たくさんの縁を結びたい」というメッセージが刻まれています

人をつなぐ活動が 未来へとつながる

豊かで暮らしやすい町の将来像を現実のものとするため、多くの皆さんのまちづくりへの参加と、多彩なアイデアの提起と具体化を促すのが、今回の支援事業の大きな特徴となっています。

今年度、「未来へつなぐ元気活動支援事業」の補助金交付を受けて活動しているのは6団体。このうち3つの団体が、「総合戦略推進型」のテーマに沿って新たな事業を提案し、それぞれの取り組みを進めています。結婚希望者の出会いと結婚につな

新たに設けました。各テーマは、昨年度策定された「大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中に位置づけられた基本目標を達成するために考案したものです。

本町の総合戦略の中には、地域資源を活用した地域産業の振興と雇用創出、若者の定住促進や町内への移住・交流施策の推進、結婚支援や出産・子育てをしやすい環境の整備など、人口減少の緩和と町のさらなる発展のための基本的な方針が盛り込まれています。



おいで、おおえ

藤原 泰祐 さん 加藤 久範 さん
(藤田) (東根市)

「おいで、おおえ」の代表を務める、映像カメラマンの加藤さん。以前から写真や映像を通じて地域の魅力をPRする仕事をしたいと考えていたそうです。

初めて本町を訪れたのは、昨年の夏。仕事柄、県内のさまざまな場所に行く機会があった加藤さんですが、大江町に抱いた第一印象は特別なものだったといいます。

「夏まつりになるとたくさんの方が集まることに驚きましたね。もっと情報を発信していく余地があるし、ぜひこの町を自分たちでPRしたいという気持ちになりました」

今年1月には、「移住」をテーマにしたトークイベントを中央公民館で開催。さらに、本町の魅力を全国に伝えるための新しいウェブサイトを開発しました。

「今まではこの町に移り住んだ方を主に引き上げてきましたが、これからは地元で暮らしてきた方をもっと紹介していきたいですね。昔ながらの技術や伝統を受け継いでいる人こそ、この町の財産ではないかと思っています」

町民みんなが「おいで」メンバー

町の人々とその営みを、美しい写真と映像で紹介している「おいで、おおえ」。そのフェイスブックは町内外から数多くの注目を集め、遠く海外からも反響があるといいます。

映像のみならず、イベント開催、ウェブサイトの運営と、ますます活動の幅を広げつつあります。



▲新たに公開された「おいで、おおえ」ウェブサイト



◀昨年公開され、現在も閲覧数急上昇中のフェイスブック。新しいサイトへの入口として、今後も大きな役割を果たしていきます

がる支援を充実させる、いわゆる「婚活」事業をおこなっているのが、町の商工会青年部のメンバーなどが中心となった「を結び隊」です。主に町内の男性を対象に、女性との出会いの機会を生み出すイベントなどを企画・運営しています。自然豊かな屋外でのバーベキューなど、若い世代の興味を引く催しを企画し、町外からもたくさんの方の参加者を呼び込むことに成功しました。

情報発信を通じて、交流人口の増加や移住の促進に結び付けているとして、「おいで、おおえ」。町内へ移住した方のエピソードや町の日常生活、祭りなどの魅力を、写真や映像に収め、インターネットを通じて広く発信するためのウェブサイト「の運営に取り組んでいます。また、これまで動画に出演した方々の意見交換を通じて、町内への移住を促進するためのイベントも開催しており、さらに活動の幅を拡大させつつあります。

「ふるさと納税」の新しい返礼品開発を通して町のPRを進める取り組みを始めたのが「佐藤利宏商店」です。自家製のいちごをふんだんに使った、オリジナルのアイスや菓子などをセットにした返礼品の開発を

イチゴが広げる 町の可能性

地域の特色あふれる返礼品をお届けする「ふるさと納税」。寄付へのお礼とともに、町の魅力を全国へPRする機会でもあります。

本町の返礼品の新しい目玉として、自家製のイチゴを活用した加工品の開発を進めているのが、佐藤さんご夫妻です。味はもちろん、デザインにも思いを込めた品。今後の展開に期待です。



佐藤利宏商店 (苺屋佐藤)

佐藤 利宏 さん 佐藤 郁子 さん
(小見)

佐藤さんご夫妻が本町に移住したのは、平成22年4月。県のオリジナル品種「サマーティアラ」を中心に、イチゴ栽培を続けています。

「イチゴ本来のおいしさを生かすには、収穫のタイミングが重要です。自分のイチゴの特徴を分析して、いかにその強みをそのまま出せるかを考えています」

自家製のイチゴを利用して、加工品を作りたいという思いは以前からあったそうですが、それが具体化したのは昨年でした。モナカにアイスに乗せて食べるというアイデア、お二人のイメージするパッケージデザインなどが徐々に形になっていき、今年2月には待望の試作品ができあがりました。今後は試作品についてのアンケートをもとに、さらなる改良を経て完成へと至る予定です。

「アイスを食べた方から『イチゴをそのまま食べているみたいでおいしい』と感想をいただいたのは嬉しかったですね。大江町の返礼品のひとつとして、少しでも多くの人に味わっていただけるよう、工夫を重ねていきたいです」



▲イチゴのメレンゲ菓子とアイスの試作品。イチゴの赤色が際立つパッケージデザインも印象的です



◀現在、ビニールハウスで育てられているイチゴの苗。2月から3月にかけては、来シーズンに向けた苗の植え替えの時期です

互いに手を携えて さらなる相乗効果

進めています。寄付をくださった方により満足していただけるよう、アンケートをおこなってさらなる改良に取り組んでいます。

来年度以降の活動内容の中で、各団体の共通した方向性として挙げられるのが「ほかの団体との連携」です。イベントの開催、情報発信、商品開発と、現在の支援団体にはそれぞれ得意とする分野があり、その道における豊富な経験やノウハウを持っています。

それぞれの長所を最大限に生かし、互いに不足する部分を補い合うことで、より効果的な取り組みができる可能性が見えてきます。

例えば、ある団体が大規模なイベントを企画し、会場や物品、運営スタッフなどを確保。別の団体は出展者として地域の産品やオリジナル商品などのPRと販売をおこない、さらに別の団体がインターネットなどを通じてイベントの情報発信を担当する、などといった形式が考えられます。

多彩な要素が1つの場所に集中す

平成27年度からの継続事業



シェイクラボ SHAKE LAB 2016 オーエリパワープロジェクト (OE REPOWER PROJECT)

町を盛り上げようと頑張る人たちがつながる場を——「OE REPOWER PROJECT」代表の大沼兄昌さん（13区）の思いから始まったイベント。平成27年度は町内の3つの会場で開催され、町に関わる人々の創作活動やパフォーマンスなどが一堂に会し、好評を博しました。

今年度は旧本郷西小学校を舞台に5日間開かれ、前回以上のボリュームで町の「楽しさ」が凝縮されたイベントとなりました。

交流ステーション前 クリスマスイルミネーション (商工会青年部)

クリスマスの時期、駅前や公園を美しく彩り新たな観光スポットにしようと、商工会青年部（部長：森道彦さん・蛭水）の企画で平成27年に始まったイルミネーション。

2年目となる昨年12月には、交流ステーション隣の公園に、西山杉で組み上げられたツリーが新たに登場。「ミツロウキャンドルづくり」参加者のオリジナルキャンドルがツリーに設置され、淡いブルーのイルミネーションと相まって、より幻想的な空間を演出しました。



ご当地ヒーロー プロジェクト シェイガー (Project-SHEYGER)

平成27年、当時左沢高校3年生だった堀大介さん（富沢）が発案した、町のご当地ヒーロー「憑神シェイガー」。ヤマガタダイカイギュウ「ぶくちゃん」をモチーフとし、かわいらしさと力強さを組み合わせたデザインで、子どもたちに大人気の存在となりました。

町内外の数々のイベントに出演してきたシェイガーは、昨年の「SHAKE LAB」で初めてのヒーローショーを実現。迫力のステージでたくさんの子どもたちを魅了しました。



ることで、町の魅力を外部へPRすることが容易になり、来場する方にとっても同じ時間、同じ場所です。皆さんの情報を得たりさまざまな体験をしたりすることができるといふメリットが生まれます。こうした形で団体同士の協力や連携は、これまでも町や有志の団体が主催してきたイベントなどで、すでに実践されている例もあります。

「総合戦略型」で設定されているテーマには、山里交流館「やまさあーべ」を活用した交流イベントなどを通じて情報発信と交流人口拡大につながる事業、そして地域内や世代間の交流によって安心して子育てができる地域づくりを目指す事業もあります。来年度以降、これらのテーマに即した新たな取り組みがスタートし、現在の活動団体とも協力しながら幅広い分野に効果をもたらす動きに発展していくことも期待されます。

今後、各団体の特性を生かした柔軟な連携体制が構築され、それが相乗効果を生み出し、さらに大きな好影響が町全体におよんでいくことになれば、未来の町の理想像にまた一歩近づくことができるという期待が湧いてきます。

平成28年度 大江町卓越技能者・技能功労者顕彰



渡邊町長、庄司孝商工会長と、表彰式に出席された皆さん

大江町卓越技能者・技能功労者

顕彰の表彰式が1月26日におこなわれました。この顕彰制度は、町内の企業などに勤務する方で、他の模範となる卓越した技能を有する方や、技術の開発や工夫によって企業などの発展に顕著な貢献をした方を顕彰するものです。

今年度は各分野から10名の方が受賞され、渡邊町長から表彰状と記念品が贈呈されました。今回受賞された皆さんをご紹介します。

望山製材(株)

大泉佐平さん(堂屋敷)

製材技士や木材選別格付技士などのさまざまな資格を保有し、製材や木材製品の選別の確かな技術を培われました。

(有)山六製材

林 重雄さん(13区)

製材工一筋57年で、1本の丸太を生かす判断力、製材する確かな技術と感性を培われました。

大波建築

大波豊光さん(諏訪原)

大工、建具職の見習いとして14年間修業し、大工として従事した後、昭和59年に独立。大波建築を立ち上げ現在に至ります。

丸福建設

菊地 勝さん(梨木原)

各社にて修業をおこなった後、昭和60年に丸福建設代表として独立。現在、町の公共事業や個人住宅建築を手掛けられています。

林造園

林忠三郎さん(上北山)

造園工として10年勤めた後、平成元年に独立し、林造園を営み現在に至ります。西村山造園組合の会長を9年間務められています。

(株)片桐

五十嵐雄二さん(富沢)

完成アイロンの専門職として30年間培った高度な技術で、高級ニット商品を製作されています。

(株)片桐

小川美佐香さん(西川町)

縫製全般の仕事を習得し、ベテ

ラン社員として作業全体の流れを考え、他の模範とられています。

(株)片桐

軽部美賀さん(河北町)

サンプル作成や現場への指示など広範囲の仕事をこなし、社内スムーズな流れに貢献されています。

(株)片桐

工藤直美さん(13区)

的確な指示、正確で早い仕事ぶりの後輩の指導や社内の雰囲気作りにも貢献されています。

あしたば食堂

菊地 賢さん(若原)

割烹店の住み込み見習い、和食店やデパート食堂への勤務を経て、昭和56年に現在のあしたば食堂を開店。35年にわたって営業を続けられています。

議会

town council 第1回臨時会

平成29年第1回大江町議会臨時会が、2月1日に開かれました。今年4月に開所予定の本郷東放課後児童クラブの指定管理者について、社会福祉法人あゆみ会を指定することが可決されました。指定管理の期間は、平成29年4月1日から平成34年3月31日までとなります。

3歳児 Smile Photo

2月7日に3歳児健診を受けた元気なちびっ子たちを紹介します！(順不同)



たかはし りく
高橋琉唯くん
富沢



さとう ゆうま
佐藤祐真くん
木の沢



いしやま あおい
石山 葵くん
若原



すずき かずひろ
鈴木一広くん
9区



さたけ ゆい
佐竹 唯ちゃん
下北山



かしわくら
柏倉かえでちゃん
小漆川



むらかみ だいご
村上大悟くん
藤田



みのたにかほ
美濃谷佳歩ちゃん
望山



よどり き
淀谷理希くん
富沢



よこやま まみ
横山真実ちゃん
上北山



わたなべ はると
渡辺 隼くん
用



しとうだい や
志藤大哉くん
4区



むらやま うらら
村山麗空ちゃん
木の沢



かねやま あらた
金山 新くん
1区



おおば はるき
大場陽生くん
藤田



しょうじ だん
庄司 暖くん
下北山



しょうじ いおり
庄司伊織くん
藤田



あらか のどか
荒木 和ちゃん
蛍水



さたけ いちか
佐竹一華ちゃん
9区



かいの みつあき
海野美月ちゃん
深沢



きくち ひめ
菊地晁芽ちゃん
伏熊



いけだ あかり
池田 彩ちゃん
諏訪原

※お問い合わせは、健康福祉課 ☎(62)2114まで



2/7 あのご当地メニューがコンビニに

昨年東京で開かれた「第5回ご当地！絶品うまいもん甲子園」において、特別賞を受賞した左沢高校の生徒によるオリジナルご当地メニューが、2月7日から27日まで東北地方のファミリーマートで販売されました。

今回、限定販売された「辛っとツルツル冷やしだしラーメン」は、鶏肉を具材に使用し、唐辛子と梅、レモンによるさっぱりとした味わいが特徴です。ファミリーマート柴橋店によると、毎日昼頃にはほぼ売り切れるとのこと、ご当地メニューはコンビニでも大好評となりました。



2/11-12 咲き誇る花火と冬の味覚

冬の柳川温泉の魅力を楽しめる「奥おおえ柳川温泉雪まつり」が、2月11日と12日の2日間にわたり開催されました。温泉の前の広場には、東日本大震災の犠牲者を慰霊する大きな雪灯ろうが作られ、会場内ではこんやく田楽や山菜汁などの地域ゆかりの味覚が振る舞われました。

11日夜には、昨年を引き続いて柳川温泉付近から約百発の花火が打ち上げられました。今年は大玉の花火も追加され、より迫力を増した冬花火。訪れた人々は、雪の舞う夜空に展開された鮮やかな光のショーに見入っていました。



2/20 町の魅力を届けるブランド誕生

新たな特産品の開発とブランド力強化のための「おおえブランド」認定審査会が、2月16日に交流ステーションで開かれました。このブランドは、商工会与JAさがえ西村山大江支所、観光物産協会、町からなる「おおえブランド推進機構」が認定するもので、今回は町産品を生かした菓子や料理、工芸品など、12の商品が認定されました。

20日には、認定式とブランドをPRするためのテレビCM撮影が中央公民館でおこなわれました。おおえブランドは今後も順次認定される予定で、ブランドの普及と販路拡大が期待されます。



2/18 僕らの秘密基地へようこそ！

ものづくりを通して子どもたちに視野を広げてもらおう企画「おおえ Familywa」が、2月18日に山里交流館「やまさあーべ」でおこなわれました。この催しは、東北芸術工科大学の学生有志が企画したもので、今年度2回目の開催となります。

今回は「オーエ文明開化」と題し、段ボールや布、糸などさまざまな材料を使って「自分たちの暮らす場所」を作るといふもの。子どもたちは大学生と一緒に想像力を膨らませて住み家を組み立て、綿をチョークで染めてケーキを作るなど、個性的なアイデアがいくつも生まれていました。



2/11 雪の中を風とともに滑走!

町内のスキーヤーたちが集う小鳥山スキー大会2017が、2月11日に開催されました。今大会には、小学生から高校生まで合わせて32人がエントリー。ゲレンデ全体を滑走する大回転競技で、2回の合計タイムを競いました。

この日は時折吹雪となるあいにくの天候でしたが、選手たちはこれまで練習で磨いてきた技術を発揮。雪が舞う真っ白なゲレンデを勢いよく滑り降り、タイム更新に挑戦していました。

《大会結果》 ※優勝者のみ・敬称略

★小学校2年生以下の部

男子/清野 悠介 (左沢小) 69秒54

女子/五十嵐侏未 (左沢小) 87秒81

★小学校3・4年生の部

男子/櫻井 佑樹 (左沢小) 75秒00

女子/小川 花 (大江スキークラブjr) 56秒13

★小学校5・6年生の部

男子/金子 泰知 (左沢小) 64秒36

女子/鈴木 優寧 (本東小) 61秒83



2/20 遊んで楽しむオーケストラ

山形交響楽団の「親子ふれあいコンサート」が、2月20日にふれあい会館で開催されました。この演奏会は、子育て応援の一環として、オーケストラの音楽に触れる機会の少ない子どもや子育て中の家族に、音楽の素晴らしさに触れてもらおうと企画されたものです。

演奏会には、多くの親子連れや町内外の幼稚園、保育園の園児たちが来場。オーケストラ伴奏による絵本の朗読に耳を傾けたり、演奏に合わせて手をたたいたり歌ったりして、迫力あるオーケストラの生演奏を存分に楽しんでいました。



2/24 熟練の芸とアイデアに喝采

町の老人クラブ連合会が主催する平成28年度老人芸能大会が、2月24日にらふらんす大江でおこなわれました。この大会は、老人クラブ会員の方々が自慢の歌や芸能を発表するもので、今年度は24組が出場しました。

オープニングではさくら保育園年長組の園児たちが特別出演し、元気な歌と踊りを披露。その後出場した会員の皆さんは、歌い慣れた十八番の歌謡曲のほか、団体での舞踊や楽器演奏、手縫いのドレスのファッションショーなど、多彩なパフォーマンスで会場を沸かせていました。

広い日本を針で突つつくようなピンポイントで大風、大雨、大雪、大地震の「激甚災害」が、列島を襲っている。予測できないということから、ゲリラ豪雨などともいわれ、なんとも不気味だ。先日、山形気象台の台長さんがお越しになった。台長さんと町長で、「気象情報携帯電話即時通話」を可能にしてあげば、被害を最小限にできるはずだと、町民にとっても、行政にとっても実在にありがたい提案をお土産としたものであった。さっそく携帯番号の共有をさせていただいた。正しい知識や情報は、安全・安心な生活に不可欠で、特に災害発生時には重要だ。

上空5千メートルにマイナス45度、冬型気圧配置……予報で大雪警報が出た。三日間細かな雪が大量に降って予報的中した。雨雲・雪雲の流れも分かるような情報もあり、「天気予報」の精度はかなり高くなった。地球の上空5千メートルは、宇宙規模でみればほんの数ミリで、頭にマイナス45度の帽子をかぶるようなもの、マイナス45度の気温が作る雪は細かく、雪と雪の間に空気が入りにくく溶けにくくて、粘土みたいに粘着しやすい等々の「天気情報」もあった。情報どおり、ビニールハウスの倒壊や樹木の枝折れなどの被害が出た。

「天気予報」も「情報」も、読み方次第だ、と言う友人もいれば、自分の都合の良い方に「読み取る」ほうが苦しくなくていい、と言う友人もいて悩ましく、情報の「出し手」と「受け手」の共同作業——「出し手」の真意を伝えたい強い意志、「受け手」の正しく「読み取る力」——で成り立つ情報社会は、楽しくもあるが、危うさもある。「オオカミが出た」の昔話、「鰯の頭と信心」の例え……万機公論に決すべし、とはいうけれど。

大江町長 渡邊 兵吾

地域おこし協力隊通信

No.31



「やまさあーべ」がオープンして2回目の冬を迎えました。アウトドア系の施設はスキー場を除くと冬の集客が課題になっていることが多く、「やまさあーべ」も例外ではありません。でも、ありがたいことに今年は毎週末のように宿泊や体験プログラムのご予約を頂いて、大忙しの冬となりました。

体験プログラムの内容は、かんじきトレッキング、イグルー作り、薪割り体験、雪掘り大根、薪ストーブピザ作りなど。かんじきトレッキングでは、雪原と化した田んぼを歩き、雪の下に埋まった水路を掘り起こして網を入れ生きものを探します。大きなカエルが見つかった時には歓声が上がりました。また、今冬初めての試みだった雪掘り大根。秋に太らせた大根を雪が積もっても植えたままにしておいて、これを掘り出すという体験です。掘り出された大根は驚きの甘さで、まるで梨のような味がします。子どもが生の大根をバリバリとかじる様子を初めて見ました。エコツーリズムという活動にとっては、大江町の雪は宝物ですね。

地域おこし協力隊 佐々木隆馬



↑かんじきトレッキング

短歌

現世に思い残せしことあるも安らぎたまえ弥陀の浄土で

雪解けの水流早し最上川猫柳の葉は揺すられながら

菅井 妙子

近頃は皆かわいらし生徒達それは何故たぶん我が老い

松田 靄

形見にと手縫いの刺し子渡されて母の温もり涙に変わる

山家 重之

冷蔵庫に恵方巻の具いろいろと今夜は楽しみ昼餉は軽め

長岡かつ子

遠き日の酒酌み交す婚礼の賑わい戻れ交す盃

斎藤 徳治

両の手でわが手をとりにて頬に寄せわらへの如く眠るわが妻

佐竹 與鼓

俳句

子の訃報舞込む冬に死を悼む

菅井 妙子

年明けて若水力胃にやさし

鴨田富士夫

湯豆腐やしんしんと雪ふりやまず

阿部 一風

一人居の読書してある昼炬燵

松田 靄

水色に桃色にじむ春の空

山家 重之

雲切れてくろがね小屋に春の月

今井 茂樹

春隣日差しの戻る北の窓

清野今日子

入園の体験二回春の色

熊谷 勉

バレンタイン老いにも義理のチョココレート

舟山 三男

煮凝を藍皿に盛る茂吉の忌

伊藤 啓泉

吟遊浪漫
ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



Youthful ★ トーク ★

家業の土木建築業・阿部組で働いている阿部さん。道路の拡張から住宅の基礎構築、冬期間の除雪作業の請負など、幅広く業務をおこなっています。

「現場での作業は、天候に左右されてしまうのが大変なところですね。でも自分の作ったものが形に残る仕事なので、やりがいを感じています」

趣味は、友人たちと一緒に始めたロードバイク。休みの日にはみんなで集まって、山形方面や柳川温泉などを目指して走るそうです。

「天気がいい日に坂を下っていると、すごく気持ちがいいですね。予定していた日に雨が降ったら、集まったメンバーでそのまま飲みに行きます（笑）」

将来的には家業の経営を受け継ぎたいという阿部さん。

「父のようにリーダーシップを執れるかどうか分からないですが、祖父が興じた会社をしっかりと受け継いでいけるよう、社員の皆さんと協力して頑張りたいです」

阿部 新伍さん (29歳・所部)

祖父と父の築いたものを受け継いで

シリーズ企画

月刊

仲間とエンジョイ!

No.4

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

大江剣聖会

代表：大波百合子 さん（諏訪原）

剣詩舞の流派「剣聖流」を愛好する会として平成7年に発足し、22年の歴史を持つ大江剣聖会。毎週水曜日と木曜日に練習をおこなっており、現在は7名で活動しています。

剣詩舞とは、歌と詩吟に合わせて舞踊用の刀や扇を持って舞う踊りのことです。伴奏となる詩の多くは日本の歴史上の人物を歌ったもので、見る人を歴史の名場面へ引き込むような魅力があります。4月に開催される県の大会に向けて、現在「源平合戦」をテーマにした舞を練習中です。

代表の大波さんは「剣詩舞をされている方は、皆さん若々しいですね。詩と振り付けを覚えて体を動かすので、健康と脳の活性化に効果があるんだと思います」と話されていました。



▲大江剣聖会の皆さん



▲練習の一コマ。本番さながらの迫力です

お知らせ

Information

灯油などの購入費を助成します

灯油などの燃料確保が困難な世帯の負担軽減のため、暖房用燃料費の一部を助成します。該当する方は、期限内に忘れずに申請してください。

◆対象世帯／町民税非課税で次のいずれかに該当する世帯 ○65歳以上の高齢者のみの世帯、○ひとり親などで18歳未満の児童を養育している世帯、○重度の障害者がいる世帯

◆助成限度額／5千円

◆申請期限／3月31日(金)

◆必要な書類／大江町灯油等購入費助成事業支援申請書、平成28年12月1日以降に灯油を購入した際の領収書、印鑑、振込先口座の通帳の写し、障害者世帯の場合は手帳などの写し

問 健康福祉課福祉係 ☎(62) 2285

地域おこし協力隊 活動報告会を開催します

本町で活動する4名の地域おこし協力隊の活動報告会を開催します。

ぜひご参加ください。

◆日時／3月16日(木) 19時～21時

◆場所／中央公民館町民ホール

※事前の申込の必要はありません。

問 政策推進課総合戦略推進係 ☎(62) 2118

平成29年度手話奉仕員養成講座開催のご案内

手話で日常会話ができる技術を習得し、聴覚障害、聴覚障害者の生活および関連する福祉制度などについて学習する講座を開催します。初心者の方も入門編から受講できる内容ですので、興味、関心のある方はぜひご参加ください。

◆期日／4月11日から11月までの毎週火曜日(8月15日を除く) 全33回

◆時間／19時～21時

◆会場／ふれあい会館

◆受講対象者／町内に居住する高校生以上の方または町内に勤務する方

◆募集定員／20名(定員を超えた場合は抽選となります)

◆受講料／無料(テキスト代3240円は自己負担となります)

◆申込方法／受講申込書にご記入のうえ、健康福祉課までお申し込みください (FAX可)。

※受講申込書は、町ホームページか

コミュニティ助成事業で整備しました



一般財団法人自治総合センターでは、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的にさまざまな社会貢献事業をおこなっています。その1つであるコミュニティ助成事業は、集会施設の整備や安全な地域づくり、共生のまちづくり、地域文化の継承など地域コミュニティの強化・充実を応援するものです。今年度本町では、次の地区がこの事業に採択されましたのでお知らせします。

○市の沢区

公民館設備や備品を整備し、オール電化を進めました。これにより、公民館の利便性が向上し、安心して公民館を利用できる環境が整いましたので、これまでに以上に区全体のコミュニティ活動の活性化が期待されます。

「介護マーク」をご存知ですか？



認知症の方や障害のある方を介護している際、ほかの方からみると介護していることが分かりにくいいため、誤解や偏見を持たれることがあります。

「介護マーク」はこのような悩みを解消するため、介護する方が介護中であることを理解していただくためのものです。

ネームプレート型のマークを健康福祉課で配布していますので、必要な方は申請してください。また、外出先で「介護マーク」を見かけたら、温かく見守ってください。

問 健康福祉課福祉係 ☎62-2285

平成29年度学習生活指導補助員を募集します

◆募集人員／1名

◆業務内容／大江中学校の生徒の学習および生活の補助に係る業務など

◆勤務形態／4月1日～平成30年3

らもダウンロードできます。
 ※日程と会場は変更となる場合があります。詳細は受講者へお知らせします。

◆申込締切／3月22日(水) 必着

問 健康福祉課福祉係 ☎(62) 2285

町税の納め忘れはありませんか？お早めに納税ください。



大江のひなまつり

- ◆日時／3月25日(土)～29日(水)
10時～16時受付
- ◆会場／町内5会場(金子仙之助家、清野太家、岡田文治家、歴史民俗資料館、無料お休み処錦庵)
- ※4会場共通券800円、1会場300円、中学生以下無料
- ☎政策推進課 ☎62-2111

左沢ひな市

- ◆日時／3月29日(水) 9時～16時30分
- ◆会場／左沢中央通り商店街
- ◆内容／植木や花、海産物、軽食などの露店
- ☎大江町商工会 ☎62-4128

お食事提供「花ずし」

- ◆日時／3月25日(土)、26日(日)
11時～13時30分
- ◆会場／歴史民俗資料館
- ◆料金／500円(各日限定30食)
- ☎教育委員会 ☎62-3666

音の文化祭「ひなまつりコンサート」

- ◆日時／3月19日(日) 13時～
- ◆会場／町民ふれあい会館
- ☎教育委員会 ☎62-3666

- 月31日までの授業日(年間215日程度)、6時間45分勤務
- ◆賃金／日額6750円(予定)
- ※別途交通費支給あり
- ◆申込期限／3月17日(金)
- ◆申込資格／教育職員免許状保有者
- ※免許を持たない方は、学校教育係にご相談ください。
- ◆申込方法／履歴書、教育職員免許状の写しを添付し、教育文化課学校教育係に提出してください(郵送可)
- ※社会保険、雇用保険に加入していただきます。
- ☎教育文化課学校教育係 ☎(62)2270

協会けんぽの健康保険料率が変わります

協会けんぽ山形県支部の健康保険料率を、平成29年3月分(4月納付分)より10・00%から9・99%に、介護保険料は1・58%から1・65%に改定します。

☎全国健康保険協会山形支部企画総務グループ ☎023(629)7226

町民農園(きらり農園)耕作希望者募集

平成29年度の耕作希望者を募集します。1区画あたり約50平方メートルと手軽で、どなたでも楽しめる農園です。収穫の喜びを味わってみませんか。

- ◆申込条件／町内に在住または通勤通学している方
- ◆貸付期間／平成30年3月末まで
- ◆使用料／年間2千円
- ◆区画数／26区画
- ◆申込方法／貸付申込書に必要事項をご記入のうえ、政策推進課までお申し込みください。
- ※貸し付けの決定は先着順です。
- ☎政策推進課政策推進係 ☎(62)2118

親子で絵本を楽しもう

赤ちゃんから幼児まで、お膝たつこでスキップを取りながら、言葉や気持ち共有する絵本体験をしてみませんか。

講師／渡邊裕子氏

(おはなしとつくってあそぼうの会 紙ふうせん)代表

- ◆日時／3月18日(土) 19時～20時
- ◆場所／中央公民館
- ◆申込／事前申込不要
- ◆主催／おおい図書館倶楽部
- ☎図書館 ☎(62)3666



雨 男ならぬ「雪男」。そんな呼び方が、今月号の取材では吹雪に見舞われることが多かったような気がします。悪天候での写真撮影はなかなか難しいもので、学ぶことの多い1カ月でした。一方、天気の良い日のおかげで想定外の写真が撮れることもあります。印象的だったのは、昨年の秋まつりの一幕。降りしきる雨の中、町内を練り歩く神輿を写した1枚には、晴れの日は違った迫力が凝縮されていました。あれ、意外と雨にもたたられているような……

(伊藤智治)

思い出の No.17 まいぞうひん My 蔵品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲庄司さんが愛用した「カチンコ」と、制作に携わった作品の台本

◀「カチンコ」を構える庄司さん。撮影時は「引く」タイミングが重要だったそうです

震災前まで劇映画の助監督をしていた私の宝物です。この「カチンコ」は、映画撮影の時に監督の「用意、スタート！」の掛け声の後に「カチン」とたたくもので、テレビなどでご覧になった方も多いと思います。昔はほとんどの映画がフィルムで撮影されていたので、音声は別の機械で収録していました。編集の時、フィルムの中に映ったカチンコの合わせた瞬間のコマと、録音テープの「カチン」という音を合わせて、映像と音声の時間軸を一致させます。助監督が最初に覚える大事な仕事です。

まだ見習いのころ、昔かたぎの俳優さんに「俺の芝居はお前のカチンコで決まるからな。うまくなれ」とご指導いただき、撮影が終わった真夜中、電灯の下で練習した日々を思い出します。

(中沢口 庄司 樹)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？ 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで、ぜひお知らせください。

戸籍のまど

1月21日～2月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
9区	伊藤 穂乃花	女	巨彦・千秋
小漆川	本田 結土	男	恵介・幸子
下北山	木村 洸太郎	男	淳一・しのぶ
小 鉾	高村 漣	男	智志・陽子
美 郷	加藤 杏	女	孝幸・基子
9区	佐藤 千冬	女	雄大・瞳

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
柳川平	富樫 俊介
山形市	斎藤 真利絵

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
滝の沢	佐藤 乾三	(81)
若 原	齊藤 満男	(85)
小漆川	伊藤 強	(79)
月 布	荒木 巖	(95)
小 見	伊藤 サカエ	(89)
9区	鈴木 幸	(79)
藤 田	安藤 武助	(75)
滝の沢	渡邊 千代子	(83)
十八才	鈴木 道太郎	(85)
小漆川	林 政志	(90)
柳川平	富樫 誠一郎	(75)
10区	関野 廣丸	(89)
富 沢	堀 孝	(81)
9区	高橋 知江子	(86)
藤 田	松田 芳子	(90)
諏訪原	石沢 ふをゑ	(95)
9区	佐藤 てつ子	(84)
月が丘	工藤 シヅエ	(97)
橋 上	柏倉 志げゑ	(100)
9区	後藤 あや子	(81)
道 海	鈴木 ユウ	(93)
深 沢	吉田 文一	(90)
貫 見	松田 義重	(82)

人口と世帯(前月比)

町の人口	8,567人(-13)
男	4,233人(-7)
女	4,334人(-6)
世帯数	2,921戸(-5)

平成29年3月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。